取扱説明書

モノタロウ ヒートガン

注文コード:41499414

MHG-2000

このたびは、ヒートガンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用をされる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、本製品の性能を十分にご理解をされたうえで、適切な取り扱いと保守をして頂きますようお願い申し上げます。



二重絶縁

注意：初期使用時に製品内部のマイカシートが過熱され、発煙する場合がありますが異常ではございません。
5分以上使用すると発煙しなくなります。
また、温度の高いモードから低いモードに切り替えた際にも煙が出ることがありますが異常ではありません。

⚠ 警告 身の安全を守るために、使用前に本取扱説明書を読み理解してください。
今後の参照のために本取扱説明書を保存してください。

お使いになる前に

【安全にお使いいただくために】

- 本取扱説明書を最後までお読みいただき、本製品の性能を十分にご理解ください。また、本取扱説明書の指示に従い適切な取り扱いと保守をしていただきますようお願い申し上げます。本取扱説明書に記載する指示に従わない場合、感電・火災または人身事故につながることがあります。
  取り扱いに不慣れな人や、正しい操作のできない人はご使用にならないでください。
  今後の参照のために本取扱説明書は、大切に保管してください。
- 本製品を正しく安全にご使用いただき、ご自身や周囲に危険がおよぶ可能性を防止するために、下記のように「警告」に区分しております。安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った使い方をした場合は、 死亡や重傷などの重大な傷害に結びつく可能性があります。

⚠ 注意	この表示を無視して誤った使い方をした場合は、 人的傷害や本製品の破損、その他の物的損害へとつながる可能性があります。

A. 作業環境

1. 作業場は整理整頓をして、十分な照明をご使用ください。散らかった作業台や暗い場所での作業は事故を招きます。
2. ヒートガンは、爆発を誘引することがある可燃性液体、ガスまたは粉じんなどがある環境では使用しないでください。
3. ヒートガンの使用中は、第三者を近づけないでください。特にお子様には十分ご注意ください。守らないと注意が散漫になり、操作に集中できず操作を誤る原因になり、結果、けがをするおそれがあります。
4. 作業場は常に換気をするようにしてください。

B. 電気に関する安全事項

1. ヒートガンの電源プラグを差し込む前に、電源がヒートガンの適用電圧である AC100V であることをご確認ください。AC100V 以外の電源での使用はおやめください。
2. 作業中にパイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などのアースされたものに身体を接触させないでください。接触した場合、感電するおそれがあります。
3. ヒートガンは、万一、ショートが起きても、作業者の安全を護れるよう、本体内部は二重絶縁されています
4. 電源コードは丁寧に扱ってください。コードが絡まったまま使用したり、熱を発する物や油類、鋭利な物の近くで使用して、コードを損傷させてしまうと、ヒートガンが動作しなくなるおそれがあるほか、感電するおそれがあります。

5. ヒートガンを運ぶ際に、本体を持たないでコードを持ったり、コンセントから電源プラグを抜くときにコードを引っ張って抜いたりするなど、コードに負担をかける行為はさけてください。守らないとコードの断線につながるおそれがあります。

＜屋外でヒートガンを使用する場合＞

6. 雨の中や湿気の多い場所ではヒートガンの使用をおやめください。ヒートガンに水が入ると感電するおそれがあります。
7. やむを得ず湿気の多い場所でヒートガンを使用する場合は、漏電遮断器（RCD）の付いたコンセントに接続するか、コンセントとヒートガンの間に漏電遮断器を接続して、感電の危険を低減させる対策を行ってください。
8. ヒートガンを屋外でご使用になる場合には、感電の危険低減対策として、屋外の使用に適した延長コードをご使用ください。

C. 作業者に関する安全事項

1. ヒートガンの使用中は作業に集中し、常に注意を怠らず、リスクをさけて、本取扱説明書を活用して正しい使い方をしてください。正しく使用していれば、けがや本製品の深刻な損傷を防ぐことができます。
2. 疲れているとき、アルコールまたは医薬品を飲んでいるときは、ヒートガンの使用をおやめください。
3. ヒートガンをご使用中は、必ずマスク、保護手袋、安全メガネなどの保護具をご使用ください。また、使用中に高温の蒸気が発生する場合もあり、安全保護具を使用することで、蒸気によるやけども防ぐことができます。
4. ヒートガンの電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ず ON/OFF スイッチが「〇」位置になっていることをご確認ください。ON/OFF スイッチが「I/II/III」の位置で差し込むと、偶発的に動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。
5. ON/OFF スイッチに指をかけながら、ヒートガンを使わないでください。作業は常にグリップを持って行い、スイッチは操作が必要なときだけ触れるようにしてください。
6. ヒートガンの使用中は、周囲に電磁場が発生します。この電磁場は、状況によっては、体内に埋め込まれた医療用器具に、電源の ON/OFF にかかわらず影響をおよぼす可能性があります。医療用器具を埋め込んでおられる方は、ヒートガンを使用する前に、あらかじめ医師にご相談することをおすすめいたします。
7. ノズルは高温になります。使用中は必ず保護手袋を着用し、使用後、素手で触る場合は、完全に冷えてから触るようにしてください。
8. ご使用後のヒートガンを片づける際は、必ず本体が冷えてからにしてください。

D. ヒートガンの使用および手入れ

1. スイッチの ON/OFF 操作ができない場合、そのヒートガンは使用しないでください。スイッチで制御できないヒートガンは危険ですので使用しないでください。
2. 調整を行ったり、ノズルを交換するとき、また、ヒートガンを保管する作業をする際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。ヒートガンが偶発的に始動する危険が軽減され、けがや事故を防ぐことができます。
3. ヒートガンを使用しないときは、お子様の手の届かないところに保管してください。
4. ヒートガンの取り扱いに精通していない方は使用させないでください。ヒートガンに不慣れな方が扱うと危険です。
5. ヒートガンを改造してのご使用は、大変危険ですので、いかなる場合も絶対に行わないでください。

E. 整備に関する安全事項

1. ご使用になる前に、部品の破損および操作に支障がないことをご確認ください。損傷や支障がある場合、使用しないでください。
2. ヒートガンの整備は有資格者のみが行ってください。
   知識や技術のない人による整備は、けがや事故につながるおそれがあります。
3. 本製品は、該当する安全規格に適合していますので、改造しないでください。

F. その他のリスク

上記の A ～ E の安全事項以外にも、突発的、偶発的な危険が起こるおそれがあります。異常を感じたら、いったん作業を中断するよう心がけてください。

【本製品を安全にお使いいただくために】

ヒートガンは、プラスチックの成形・溶着、塗装の除去、熱収縮チューブの加工のほか、金属の半田づけ、スズめっき、接着部の剥離、凍結した水道管の解凍などにもご使用になれますが、それ以外の作業にはご使用にならないでください。

なお、本製品をご使用の際には、下記に述べる警告・注意事項もお守りください。

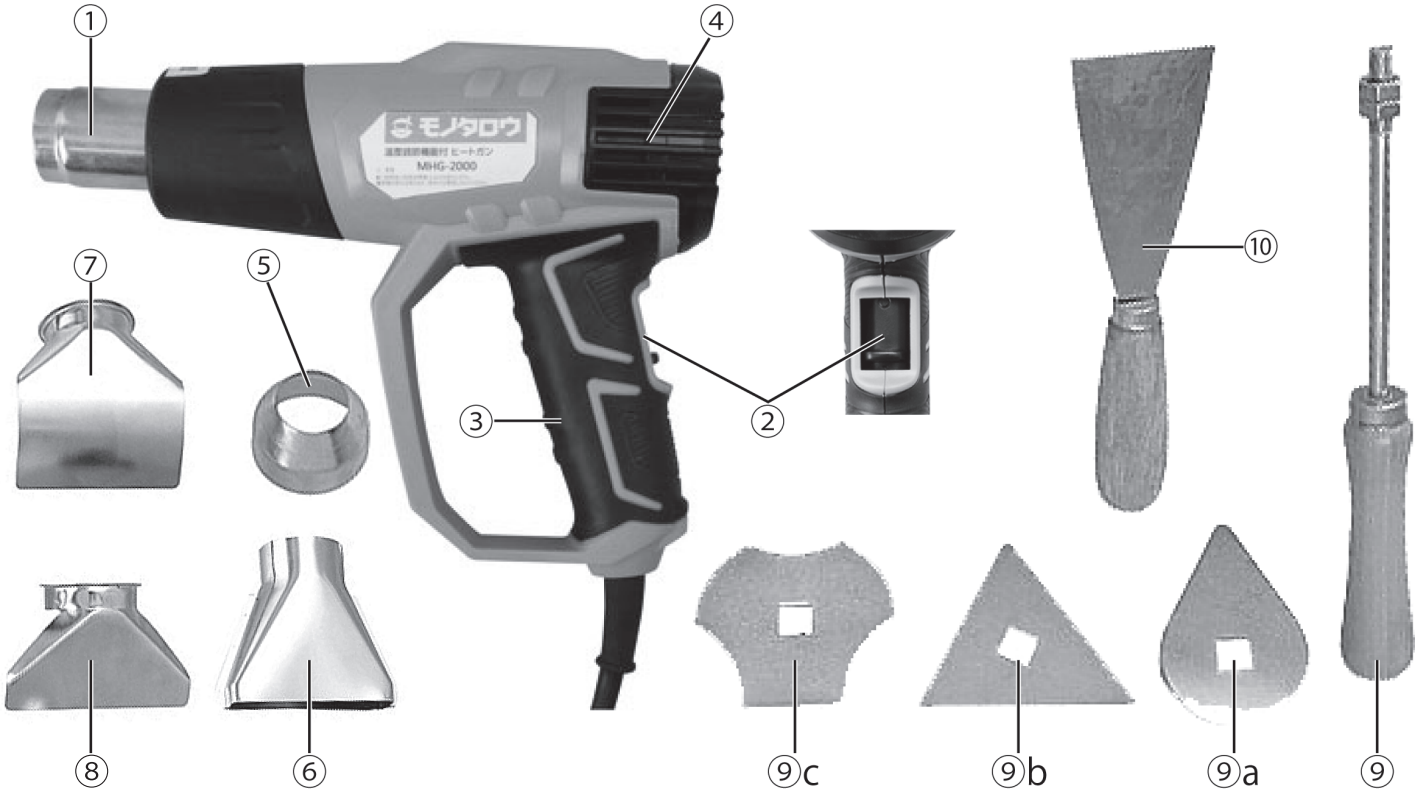
⚠ 警告 **この表示を無視して誤った使い方をした場合は、死亡や重傷などの重大な傷害に結びつく可能性があります。**

1. 可燃物や可燃性ガスの近くではヒートガンの使用をおやめください。守らないと発火や引火のおそれがあります。
2. 1 ヵ所に長時間、熱風を当てないでください。守らないと発火のおそれがあります。
3. 爆発性ガスの近くで使用しないでください。守らないと爆発のおそれがあります。
4. 視界の外にある可燃物が、伝導熱で発火する可能性があることにご注意ください。
5. ヒートガンの熱風を、人や動物をはじめ、作業に関係のないものに当てないでください。
6. 電源が入ったままのヒートガンを放置しないでください。
7. 使用中に調子が悪かったり、異音がしたときは、すぐに ON/OFF スイッチを「○」位置にして、使用を止めてください。
8. 感電のおそれがありますので、水などをかけないようにしてください。
9. ヒートガンは適切な用途以外で使用しないでください。守らないと損傷やけがの原因になります。
10. ノズルを交換する前、調整・メンテナンスを行う前、ヒートガンを保管する前には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そうした安全予防対策で、ヒートガンが偶発的に始動する危険が軽減されます。
11. 雨の中や湿気の多い場所ではヒートガンは使用しないでください。守らないと感電の危険が増大します。
12. ヒートガンから出る熱風をさえぎらないでください。
13. 吸込口、吹出口、ノズルはふさがないようにしてください。

【特長】

- 1,450W の高出力。
- 熱風は 300℃と 500℃に切り替え可能。
- 加熱後の冷却に利用できる送風機能付き。
- 4 種類のノズルとスクレーパーなどが付属。さまざまな用途がこれ 1 台で!

【各部の名称】



本体

1　吹出口

2　ON/OFF　スイッチ（風量および冷風 / 熱風の切り替え兼）

3　グリップ

4　吸込口

付属品

5　スポットノズル

6　フラットノズル

7　フックノズル

8　シャベルノズル

9　シェーブフックハンドル

　　9a 削刃　A

　　9b 削刃　B

　　9c 削刃　C

10　スクレーパー

【付属品】

本製品には 4 種類のノズルが付属しています。本体の吹出口にはめてご使用ください。

スポットノズル

熱風を 1 ヵ所に集中して当てるためのノズルです。隅や割れ目のような狭い所や、モールディング、玉縁、窓枠などの塗装を除去するなど、細かい作業をするときにご使用できます。



フラットノズル

細長い熱風を出すためのノズルです。幅木やドア、階段のステップなど平坦で広い面のペイントやニスを除去するのに適しています。スクレーパーと併せてご使用ください。

ビニールタイルの除去にも使用できます。



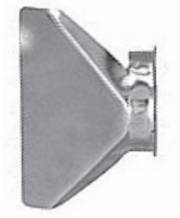
フックノズル

熱風を対象物全体に広く均一に当てるためのノズルです。凍結したパイプの解凍、パイプの半田づけ、プラスチックの曲げ加工、熱収縮部品の加熱などの作業をするときにご使用できます。



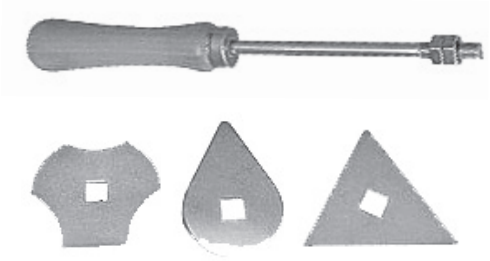
シャベルノズル

幅木やドア、階段のステップ、ガラス板といった平坦な面のペイントやニスを除去するときにご使用できます。



シェーブフックセット

3 種類の異なった削刃を用意しています。用途に応じてシェーブフックハンドルに取り付け、ペイントやシールなどの付着物を除去するのにご使用できます。



スクレーパー

ヒートガンを使って加工しやすくした物を、削ったり剥がしたりする作業にご使用できます。



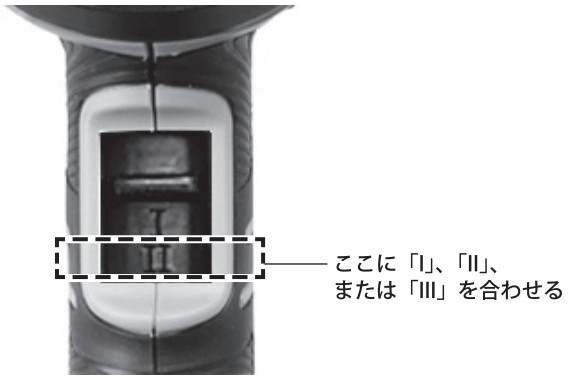
【仕様】

型番	MHG-2000
電圧 :	AC100V
電源周波数 :	50/60Hz
定格消費電力	（冷風）45W、（弱風）750W、（強風）1,450W
熱風温度	（冷風）約 50℃、（弱風）約 300℃、（強風）約 500℃
風量	（冷風 / 弱風）約 280L/ 分、(強風) 480L/ 分
定格使用時間	20 分
絶縁構造	二重絶縁
重量	0.75kg（本体のみ）
付属品	スポットノズル フラットノズル フックノズル シャベルノズル シェーブフックハンドル 削刃 A 削刃 B 削刃 C スクレーパー

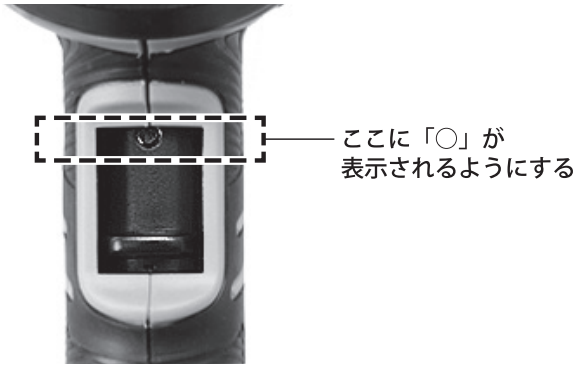
【使い方】

■電源の ON/OFF

電源 ON：ON/OFF スイッチをスライドし、窓の下端に「I」、「II」、または「III」を合わせます。



電源 OFF：ON/OFF スイッチを下いっぱいにスライドし、「○（OFF)」が表示されるようにします。



■風量と冷風 / 熱風を選ぶ

ON/OFF スイッチには、○（電源 OFF）のほかに、「I」～「III」の 3 つの位置があります。作業内容に合わせて最適な温度と風量の組み合わせをお選びください。

ON/OFF スイッチの位置	風の温度	風量	主な用途
I（冷風）	50℃	280L/ 分	本製品を使用後に冷やす
II（弱風）	300℃	280L/ 分	プラスチックの曲げ、熱収縮プラスチックの加熱
III（強風）	500℃	480L/ 分	塗装の除去、凍結したパイプの解凍

⚠ 注意 **この表示を無視して誤った使い方をした場合は、人的傷害や本製品の破損、その他の物的損害へとつながる可能性があります。**

- 対象物や作業内容に最適な温度は、あらかじめテストしてご確認ください。
- 対象物の材質や作業の目的などによって最適な風の温度は異なります。最初から高い温度で使用するのではなく、最初は低い温度で始めてください。
- ノズルと対象物の適切な距離も、対象物の材質や使用目的などによって異なります。

■塗装を除去する

ペイントやニスを除去する場合を例に、一般的な使い方を下記で説明しますが、ほとんどのシール類も、同様の方法で接着部を加熱させて、剥がすことができます。

⚠ 警告 **この表示を無視して誤った使い方をした場合は、死亡や重傷などの重大な傷害に結びつく可能性があります。**

- 雨の中や湿気の多い場所ではヒートガンは使用しないでください。守らないと感電するおそれがあります。
- 使用前に電源の電圧をチェック、必ず本製品に表示されている AC100V でご使用ください。
- 付属品の取り付け、調整またはメンテナンスなどをする際は、必ずコンセントから電源プラグを抜いてヒートガンが作動しない状態で行ってください。守らないとヒートガンが偶発的に作動し、ケガや事故につながるおそれがあります。
- 付属品以外の部品をヒートガンに装着して使用しないでください。守らないと、ヒートガンの性能を発揮することができないばかりか、ケガや事故につながるおそれがあります。
- 窓ガラスなどのガラス面に、絶対にノズルを向けて熱風を当てないでください。ガラスが割れることがあります。

⚠ 注意 この表示を無視して誤った使い方をした場合は、
人的傷害や本製品の破損、その他の物的損害へとつながる可能性があります。

- 作業面が広い場合は、あらかじめ狭い作業面でテスト作業をして仕上がり具合や作業性をご確認ください。
- 加熱を避けたい場所がある場合は、あらかじめ不燃材でマスキングして熱風が当たらないようにしてください。
- シール剥離だけの場合、熱風を当てすぎないようにしてください。作業対象物の塗装面に気泡が発生したり、傷めてしまうことがあります。
- 本製品と剥離剤を同時に使わないでください。

1. ON/OFF スイッチが「○」位置になっていることをご確認ください。
2. 必要に応じて、作業に適したノズルを付属品の中から選んで吹出口にセットします。

〈参 考〉

- 本製品はノズルなしで使用できますが（ただし窓枠から塗装を除去する場合を除く）、ノズルを装着した方がよい仕上がりになることが多いため装着をおすすめいたします。

3. 必要に応じて、スクレーパーや、用途に適した削刃をシェーブフックハンドルに装着してご使用ください。
4. やけど防止のため手袋など安全保護具を着用してください。
5. ON/OFF スイッチをスライドして「III」位置に合わせます。
6. ノズルを対象物の塗装面から 5 ～ 10cm ほど離し、熱風を当てます。
7. 塗装に気泡ができるまで、ヒートガンの熱風をゆっくりと近づけたり遠ざけたりして作業を行います。
8. スクレーパーや削刃を装着したシェーブフックハンドルを使用して、すみやかに塗装を除去します。

⚠ 注意 この表示を無視して誤った使い方をした場合は、
人的傷害や本製品の破損、その他の物的損害へとつながる可能性があります。

- 垂直面の塗装を除去する場合、下向きに削り取ってください。削り取る幅は、連続して作業する場合、同一にしてください。
- 塗装面の加熱はスクレーパーで除去する直前に行い、熱せられたら、ただちに除去してください。
- 塗装面を過度に加熱しないようにしてください。塗装が焼きついて除去が難しくなります。
- スクレーパーのブレードは、使用後、毎回掃除し、常にきれいでシャープな状態を保ってください。
- 塗装面がざらついたりでこぼこしている場合は、塗装を温めて軟らかくした後に、ワイヤーブラシなどを使用して除去してください。
- 使用中のノズルは高温になるため触れないようにしてください。
- ノズルを回転させる場合は、電源を切ってノズルを冷やしてから行ってください。

9. ON/OFF スイッチをスライドして「I」位置に合わせ、ヒーターが損傷しないようしばらく冷風運転して冷やします。
10. ON/OFF スイッチをスライドして「○」位置に合わせ、電源を切り、作業を終了します。

⚠ 注意 **この表示を無視して誤った使い方をした場合は、人的傷害や本製品の破損、その他の物的損害へとつながる可能性があります。**

- 本製品を置くときは、ノズルを上向きにしてください。
- 本製品を片づけるときは、完全に冷えてからにしてください。

■凍結したパイプを解凍する

ヒートガンを使用して、凍結した金属製の水道管を解凍することができます。

⚠ 警告 **この表示を無視して誤った使い方をした場合は、死亡や重傷などの重大な傷害に結びつく可能性があります。**

- ガス管は絶対に加熱しないでください。守らないと爆発のおそれがあります。
- 凍結した水道管が塩化ビニル管の場合は、加熱しないでください。守らないとパイプが損傷するおそれがあります。

1. 初めに、「塗装を除去する」（9 ページ）の手順 1 ～ 5 を行い、続けて以下の手順を行います。
2. パイプの端から加熱して解凍します。中央から加熱しないようにしてください。
3. 「塗装を除去する」の手順 9 ～ 10 を行います。

■電線を熱収縮チューブでカバーする

1. 対象物の太さに合った熱収縮チューブをかぶせます。
2. 「塗装を除去する」（9 ページ）の手順 1 ～ 5 を行います（ON/OFF スイッチは「II」位置にセットします）。
3. 熱収縮チューブを均等に加熱して収縮させます。
4. 「塗装を除去する」の手順 9 ～ 10 を行います。

■プラスチックパイプを曲げる

1. パイプが歪んだりねじれたりしないよう、乾いた砂をパイプ一杯に入れ、両端に栓をします。
2. 「塗装を除去する」（9 ページ）の手順 1 ～ 5 を行います（ON/OFF スイッチは「II」位置にセットします）。
3. パイプを端から端まで均等に加熱し、必要な形に曲げます。
4. 「塗装を除去する」の手順 9 ～ 10 を行います。

【クリーニングとメンテナンス】

- 吸込口と吹出口は常に清掃し、ほこりがたまらないようにしてください。
- 外装プラスチックの汚れは、薄めた中性洗剤液に柔らかい布を浸し、固く絞って拭いてください。
- ベアリングに注油するなどの特別なメンテナンスは不要です。
- 内部を清掃する場合は、万一の危険を避けるため、弊社にご依頼ください。

> ⚠ **警告** **この表示を無視して誤った使い方をした場合は、死亡や重傷などの重大な傷害に結びつく可能性があります。**

- 本製品を水に浸けたり、アルコールやガソリン、シンナーなどの溶剤などをご使用になることは絶対におやめください。守らないと本製品の損傷や感電事故の原因になります。

【保管】

使用後は、清潔で乾燥した場所に保管してください。本体や付属品、取扱説明書（本書）をまとめて元箱に入れておけば、必要なときにすぐご使用になれます。また、必要な情報もすぐに取り出せます。
持ち運びの際は、壊れないようていねいに梱包するか、購入時の梱包材をご使用ください。

【本製品の廃棄について】

本製品の一部または全部を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体の条例に従ってください。

【こんなときは】

使用中に異常が発生したり故障した場合は、ただちに電源を切り、電源プラグを抜いて使用を中止し、弊社に点検・修理をご依頼ください。そのまま使い続けることは絶対にしないでください。

> ⚠ **警告** **この表示を無視して誤った使い方をした場合は、死亡や重傷などの重大な傷害に結びつく可能性があります。**

- 電源コードが損傷した場合は、絶対にご自分で修理したり交換したりしないでください。
- 整備は、有資格者の方のみが行ってください。無資格者の方による整備は、けがの原因になることがあります。